

さいたま市立泰平小学校



学校だより

児童数：666名（男：327名、女：339名）

第452号 平成29年 6月30日 発行

〒331-0801 さいたま市北区今羽町628

TEL 048-651-5637

FAX 048-651-4831

・ホームページ <http://taihei-e.saitama-city.ed.jp/>

・Eメール taihei-e@saitama-city.ed.jp

◎かしこく

◎なかよく

◎たくましく

◎心ゆたかに

学びいっぱい

笑顔いっぱい

元気いっぱい

夢いっぱい

泰平っ子



あ(明るく) い(いつも) さ(先に) つ(続けて)

校長 玉川 徹

「あいさつはコミュニケーションのはじまりですよ。」

「自分の身は自分で守るということは、まずは、あいさつからではないでしょうか。」

「あいさつする子が少ない。とても残念です。」

「なかなか、自分からはあいさつがないですね。」

防犯ボランティア会議の中や教職員同士の話から出てきた会話です。

そして、5月の下旬に館岩少年自然の家でお世話になった先生の話です。

「あいさつができる子が多い学校はやっぱり行動もきちんとしています。子どもたちのあいさつが、その学校の第一印象です。館岩にきていろいろな学校と接してあいさつの大切さを実感しています。」

子どもたちへのあいさつの指導は、どの学校でもどの時代でも課題となってあがってきます。若いころ先輩の先生から「あいさつのできる子にするには、教師の方から子どもたちにあいさつをし続けることだ。」と教わりました。校門で、昇降口で、教室で、廊下で、繰り返し繰り返し……。学校では、何とかして子どもたちにあいさつを定着させようと声をかけ、指導をします。あいさつ運動では、代表委員や当番クラスの子たちも一生懸命声を出し、あいさつをします。あいさつは、これから多くの人と出会っていく子どもたちに身につけさせたい習慣です。

さて、一步踏み込んで、自戒も含めて、ここで問います。「子どもたちが毎朝行うそのあいさつ、果たして、本物のあいさつなのか？」と。「あいさつ運動が終わっても、果たして、自分から進んで気持ちよく、あいさつする？」と。「形式的なあいさつになってないか？」と。形式的なあいさつを否定するものではありません。幼稚園や保育園のころから「先生おはようございます。みなさんおはようございます。」と何百回何千回と繰り返してきているのもまた事実であり、日頃から形式的なあいさつを繰り返してきているのです。これらがあることで、本当のあいさつに代わっていくのもまた事実です。毎日毎日繰り返しあいさつをすることで身につく、それが自然と本当のあいさつに代わってくるのです。本来身につける本当のあいさつとは、相手と視線を合わせ、笑顔になったり、相手を気遣ったり、会話や人間関係のきっかけとなったり……。もともと心と心を通わせる温かいものだと思うのです。それらが、人と人とを結びつける礼儀へとつながっていくのではないのでしょうか。

「おはようございます。」「いつもお世話になっています。」

「今日は暑いですね～」誰が考えた出したものでもない、何気ないあいさつ。あいさつというものは、毎日の暮らしの潤滑油とでもいった尊い働きを果たしているものでもあるのではないのでしょうか。あいさつにもいろいろありますが、要は、もっともっと、あいさつというものを大切にしたいと思うのです。笑顔で明るく朗らかに、あいさつを交わしあうことを心がけたいものです。

○あいさつは

 心のとびら
 笑顔で明るく朗らかに